

2022 年度 管理業務実施報告書

2023 年 5 月 30 日

1, 2022 年度計画からの振り返り

(1) 2022 年度計画からの抜粋

2022 年度スローガン

新型コロナウイルスの蔓延による、利用者全体の活動機会の減少、フレイルに近づく利用者、センターに再び来てもらい、利用者同士のコミュニティを取り戻し元気にしていく

事業の4つの柱と骨子

2022 年度の事業の柱は以下の5つとしました。

- 1 総合介護予防の拠点
- 2 利用者が主体的に参加できる環境づくり
- 3 世代を超えた交流から地域の絆を～住民の高齢者理解と地域共生社会への啓発
- 4 学び・出会いを地域の力、まちづくりへ
- 5 環境に最大限配慮した経費縮減

講座・サークル・開放事業・各種行事運営、センター内で健康生活の啓発、ボランティア活動、従来のセンター管理（浴室・施設運営・維持・管理含む）、を行いました。

(2) 2022 年度各業務の到達点

1. 生活相談業務

今年度は、コロナ感染症のまん延対策をしながらの開館で、部屋の定員制限、一部休止にせざるおえない講座、制限をされた中での一部開催などがあり、利用者の方から見ると、存分に自由に活動出来た状況とはなりませんでした。

そのため、利用者の方も参加する講座やサークル、行事などを目的に来られ、短時間の利用でお帰りになる方が多く、従来のような気軽に直接事務室に来られて相談される機会は今年度も大変少なかったです。

館内には、どんなことでも“よろず相談”を行っている掲示物は常時掲示しており、スタッフも気軽に声掛けをすることで、利用者の心身状況を常に気にかけています。

また、前年度からの取り組みで継続している医療機関と提携して様々な相談事業をできる限

り開催し、利用者が気軽に看護師や理学療法士、専門職やインストラクターに相談できる体制を整えてきました。こちらの専門家への相談は、毎回かなりの人数になり一定の成果が出ています。

- ・「免疫力の維持について」
- ・「認知症は予防できる!? 今日からできる3つのこと」
- ・「かんたんスマホ講習会～操作の基本・アプリの基本編～」
- ・「～ご自身とご家族のために、考えてみませんか?～相続の手続きについて」
- ・「健康寿命をのばそう!!～with コロナでの運動習慣～」
- ・「介護保険制度について/地域包括支援センターってどんなところ?」
- ・「骨粗鬆症とは? ～骨密度検査・診断について～」
- ・「転倒防止講話&体操」
- ・「生活習慣病と生活習慣改善 10 か条」
- ・「認知症サポーター養成講座」
- ・「気を付けよう 悪徳商法・消費者トラブル!」
- ・「スマホの使い方体験・相談会」
- ・「知りたい! 上手な薬の保管方法」

等を開催し同の相談会もすべて事前申込制で、ほぼ定員いっぱいでの開催でした。

2.健康増進・機能訓練に関する業務

発声をともなう行事は、今年度はかなり緩和されたため、利用人数を制限しながら、多くの行事を開催していくことができました。歌いま唱歌（ピアノの伴奏で童謡唱歌をみんなで歌う会）や、認知症予防講座、音楽鑑賞会、映画鑑賞会など、コロナの感染状況を考慮しながら、定員の半分以下で開催することがほとんどでした。また、たまうた（ウクレレの伴奏で歌謡曲や唱歌などをみんなで歌う会）は、歌いま唱歌の開催状況を踏まえて、大人数で歌を唄うことの安全性を検証しながら、次年度から開催する計画で今年度も開催を見送りました。

業務全体で目標 1000 名の参加者を見込んでおりましたが、全体で延べ 102 回開催 1394 名の参加となりました。

また、昨年度から取り組んできた、オンラインの活用による利用者へのサービスの一環として、歌いま唱歌の映像配信と、医療機関の入院患者様向けの LIVE 配信を行いました。

ピアノの伴奏による歌謡曲や童謡とウクレレグループによる歌謡曲の配信を行い、今期は 10 回行い映像は編集をして、ホームページ上で閲覧して楽しめるようにしています。

録画で配信した、歌いま唱歌は、会場で参加できなくても先生の歌とピアノが毎月みられ

ると、スマートフォンを上手に利用できる利用者からは大好評でした。

3 教養講座に関する業務

今年度も、定員制の講座の募集時期が、感染症のまん延のピーク頃に当たりましたので、利用者の講座の募集は例年より申込者は少ないが、希望者はほとんど参加できる状況でした。(一部 300%を超える講座もあるが定員数が少ないため)

自由参加講座も、ほとんどの講座の定員を制限して事前申込制として開催いたしました。また、開催期間が 6 か月の短期講座は、前期も後期も開催して、ほとんど 100%以上の申し込み率でした。

ここ数年、コロナ禍で利用者自身が運動不足フレイル危機を気にして、運動講座への参加申し込みが依然高い状況は続いており、まだまだすべての方々が参加できる状況にはなっていません。

そのため、それらの需要を満たすため、単発で申し込みできる運動行事を毎月 5~6 種類用意をして、運動をしたい利用者に適宜案内をしながら利用を促進しています。

また今年度もすべての講座において、利用者の満足度が非常に高いのは、講師の方々の丁寧な指導とフレンドリーな対応が今年度も評価されています。

4 レクリエーション・各種行事に関する業務

センターでは、健康増進・機能訓練に関する業務と並んで、積極的に企画している業務ですが、今年度も大きな発表会や季節行事の開催は見送り、少人数で安全に行えるものを中心に開催をしてきました。

囲碁将棋は、盤や基石の清掃消毒の関係で、午前午後の 2 部制として、開催をして一定の利用が戻ってきました。次年度に向けては、定員の緩和より、利用時間の緩和を希望される利用者も多く、次年度に向けて利用時間延長も予定しながらの運営でした。

卓球も利用時間を制限して、多くの利用者が平等に利用できるように最大限配慮をして開放して事業を行いました。

コロナ禍の感染状況が落ち着いてきた時期に、地域レクリエーションの“ていねぐんていぬペタンク”を地区センターの後押しもあり 3 年ぶりに開催しました。

また、大人数でも行事やイベントがどの程度できるかを見極める行事として、3 月に“大玉入れ大会”を開催して、利用者同士の楽しむ姿に久しぶりに触れることができました。

次年度は、遠足などの屋外行事や、社会見学会、少人数での各種の発表会、カルチャーナイトなどの地域開放行事、季節行事、などの各種行事を一つでも多く元に戻していく計画です。

5 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

センターの利用で、従来の活動の中で、教養講座と並んで開催回数・利用者が多い活動がサークル活動です。

教養講座で学んだものを、同じ時に学んだ仲間とサークルを作り活動を継続していくことは、これまでとても多く、センターとしても活動支援を行ってきました。

しかし、サークルでの活動状況は以前のような活気は少なくなり、目標がなく活動を続けているケースが目立ちます。コロナ禍の中、世の中全体の自粛ムードで、活動の意義や楽しみが再検証されることとなり、停滞ムードのサークルが多いようです。

また一方では、新しいサークルを新たに立ち上げ、活動を始めるグループもあり、活動に対する温度差も大変大きいです。

今後も継続して活動が行えるように、センターとして支援できることは積極的に行いながら、活動支援をしていきたいと考えています。

ボランティア活動はセンターの特徴として積極的に広げている活動のひとつで、センター内外の緑化美化を主にお手伝い頂きますが、ボランティアの日を設けて毎月参加を促す行事がありましたが、今年度は、春の近隣ごみ拾いと夏・冬の窓ふき掃除等の数回のみとしました。

手稲駅北口のフラワーロードのボランティア活動は、屋外活動なので感染対策を取りながら行い、ボランティアに参加してくれる利用者が今年度も増えてきました。

その他、提携医療機関での野菜栽培、センターでの野菜栽培など楽しんで継続参加してくれる利用者が増えてきました。

6 その他施設の設置目標を達成するために必要な業務

講座やサークルに参加して、学んだことや技術をインプットするだけでは、利用者の活動はマンネリになりやすく飽きてしまうため、活動を継続する意義や目標が必要だと考えています。

今年度も、センター内での大規模な発表会はすべて中止とし、手稲区内で行われてきた様々な文化祭や発表会も中止、老人施設などへの慰問活動も中止など発表をする機会がほとんどない年となりました。

しかし、昨年を引き続き、コロナ禍でも出来る行事として、作り物を中心とした、卒業作品展示会、それらを映像で記録して、広く多くの方に見ていただけるようにしました。

次年度は、さまざまな披露する機会を通じて、地域づくりや参加される本人たちの健康づくりに生かしていける活動を積極的に推進していきます。

7 その他の業務

●世代を超えた総合介護予防の場から支え合い（生活支援）の場へ

地域の活動交流拠点を作り出そうと、利用者や地域の方々に参加していただいて“まちづくり講座”を行い、どのような活動が地域に求められているか、自分たちは何をしてあげられるのか、という視点で話し合いを進めており、新たな活動が昨年度より始まっています。

活動の拠点をワーカーズコープ・社団法人日本社会連帯機構と協力支援をもらいながら手稲前田地区に拠点を定め、世代を超えた地域の利用者の居場所づくりがスタートしました。

●SDG s を意識した運営について

健康長寿社会の実現

身体の健康と精神の健康維持のためには、地域でのコミュニケーション、地域での多くの居場所がある人が、健康で幸せな感じやすい環境であることだと理解しています。

資源・エネルギーの効率的利用・再生

水道光熱の使用量削減は、継続のテーマとして具体的な削減計画と委員会をつくって組織的に削減をしています。また、ごみ減量と再生再利用できるものとして、センター内で出た刈草を堆肥化する資源の再生に今年も取り組み、センター内の畑や花畑に利用し循環させています。古紙や段ボールなどもすべて再生利用に回しています。

住み続けられるまちづくり

住み慣れた地域で、誰もが和やかに過ごしていくため、地域づくりのテーマを、“顔が見える関係を作り、困ったときに遠慮なく助けて”といえる環境が理想ですので、泥臭い地域づくり活動が継続的に必要だと考えています。

センターを中心に関係機関との連携の中で果たしていく役割はとて大きいと感じています。

2. 具体的な活動項目・活動結果と評価

1) 2022 年度の利用者数推移

① 新規登録者数と総利用者数

【新規登録者数】

2021 年度	2022 年度
90 名	124 名

【総利用者数】

2021 年度	1 日平均利用者	2022 年度	1 日平均利用者
11,859 名	54 名	24,869 名	72 名

*土日を含む全ての開館日での平均利用人数で鶴

② 講座・サークル・開放など日々の主な活動への参加人数

	2021 年度	2022 年度	
卓球（開放）	960 名	2,764 名	
囲碁将棋（開放）	1,621 名	3,320 名	
読書	107 名	279 名	貸出は 107 冊
講座	3,948 名	7,552 名	
サークル活動	2,644 名	5,477 名	
サークル数	59	53	

③ 自主企画（旧 2 次介護予防修了者の受け皿を兼ねた事業）への事業参加者数

	2021 年度	2022 年度
テイク 10	81 名	201 名
たまうた	中止	中止
歌いま唱歌	中止	355 名
お茶の間ぬくぬく	中止	中止
ビデオ体操	182 名	227 名
イムス元気運動教室	124 名	323 名
脳トレサロン	81 名	139 名

④ 各種行事への参加者数

2021 年度	2022 年度
525 名	2,022 名

2022 年度開催した各月の行事

- 4 月 ボランティアの日・イムス元気運動教室・折り紙教室
- 5 月 ボランティアの日・遠足・イムス元気運動教室・スマホ体験会
医療講話・体力測定会
- 6 月 サークル懇談会+防災担当者会議・防災訓練・映画観賞会・イムス元気運動教室
- 7 月 ボランティアの日・土功川清掃ボランティア・カルチャーナイト 2022
イムス元気運動教室

- 8月 ボランティアの日・映画観賞会・イムス元気運動教室
- 9月 折り紙教室・イムス元気運動教室・医療講話
- 10月 交通安全教室・リースづくり教室・イムス元気運動教室・医療講話
- 11月 イムス元気運動教室・体力測定会
- 12月 ボランティアの日・映画観賞会・リースづくり教室・イムス元気運動教室
体力測定会
- 1月 ペタンク大会・イムス元気運動教室・スマホ体験会
- 2月 イムス元気運動教室・音楽鑑賞会・卒業作品展示会
- 3月 ボランティアの日・映画観賞会・大玉入れ大会・折り紙教室・医療講話

各種ボランティア活動、懇談会、実行委員会など

【センター外部での活動】

懇談会・実行委員会など	64名
ボランティア 野外ゴミ拾い含む	45名
出前（老人クラブ、高齢者施設など慰問）	0名
JR手稲駅北口の緑化ボランティア	155名
合計	264名
【参考】 初心者囲碁教室（囲碁世話人会主催）	中止 0名

手稲駅北口の花のお世話は、今年度も屋外活動なので行いました。

⑤多世代交流としての学生などの受け入れ

例年行う、曙保育園との交流事業は芋ほりは再開。手稲鉄北小学校、札幌高等養護学校の交流事業は中止。札幌市立大学との短時間での見学実習・WEBを使った交流事業で再開。

【多世代交流】

学生や学童・児童の受け入れ	57名
---------------	-----

⑥相談業務

2012年度後期より、相談の中でも特に注意すべきものについては記録に残すようにし、時系列に記録を残すことで、ご家族への連絡や地域包括への相談など、こまめに対応できるようになっています。

年々細やかな対応が必要な利用者が増加していると実感しています。

今年度は、様々な事業再開により、相談者数、健康講話参加者が大幅に増えた。

【健康相談、および健康講話参加者人数】

健康相談+生活相談	122名
健康講話	453名
血圧測定	540名

3. 環境配慮に関する具体的活動結果

1) 電気使用量とガス使用量・水道使用量

	2021 年度	2022 年度
ガス使用量	24,382 m ³	25,151 m ³ (103.2%)
電気使用量	57,742kWh	65,520kWh (113.5%)
水道使用量	985 m ³	1,552 m ³ (157.6%)

*前年に比べ、総利用者数が倍増している関係で、部屋の稼働率、トイレを使う頻度などから、電気・水道は増えています。ガスの使用量は、主に冬季暖房と給湯用ボイラーの稼働ですが、ここはほぼ横ばいでした。

2) 枯れ草等の堆肥化と新たな花壇スペース

今年度も、敷地内の雑草は、堆肥ヤードで堆肥一にして敷地内の緑化に使用をしました。前年に、緑化スペースとして生まれ変わらせ新たな花壇スペースを作りましたが、様々な植物が見られるガーデンスペースとして、センター利用者だけではなく、近隣の公共施設の利用者や地域の住民の方々まで、楽しめる新たな憩いの場となりました。さらに、植栽スペースを増やして、植物の数も大幅に増やしました。

3) その他 環境配慮の取組

2022 年度も、リングプルとペットボトルキャップの回収は、感染症蔓延防止の観点から衛生面などを考慮して一時休止いたしました。

環境配慮・リサイクルの観点から次年度は再開させていく予定です。

4. 運営管理に関するその他の計画

1) 計画修繕など

- ・壁ひび割れ補修、コーキング打ち直し、軽微な塗装、カーペットの補修等多くの細かい営繕修理を行った
- ・キュービクルへの引き込み線の経年劣化につきましては、札幌市の建築課の修繕要望依頼に記しています。

2.) 年間研修参加実績

《参照資料 昨年度参加した研修や会議》

- 全国事業所長会議④ 4月14日～15日
- “ルールを守らない利用者への伝え方についてみんなで考えよう” 4月19日
- 全国小農・森林PJ会議 5月11日
- 職員同士理解を深めよう 5月13日

良いところ、悪いところ、優れているところ、劣っているところ

●手稲区子ども G 自立支援協議会	6月24日
●協同労働推進ネットワーク会議	7月8日
●医師中村哲の仕事・働くということ視聴	7月12日
●全国事業所長会議①	7月14日～15日
●旭川 発達障害理解深める研修	7月16日
●手稲区社会福祉協議会 2 層会議	7月25日
●全国共生ケア PJ 会議	7月25日
●手稲区子ども G 自立支援協議会	8月19日
●手稲老福第 1 回運営協議会	8月19日
●協同労働推進ネットワーク会議	8月19日
●北海道所長・現場責任者会議	8月27日～28日
●協同労働推進ネットワーク会議	9月9日
●手稲区子ども G 虐待防止勉強会	9月16日
●全国共生ケア PJ 会議	9月21日
●新入団研修会①	9月26日
●全国コモン会議	9月29日
●手稲区子ども G 自立支援協議会	9月30日
●苫小牧こども G 会議	10月6日
●協同組合地域共生フォーラム	10月8日
●全国事業所長会議②	10月13日～14日
●協同労働推進ネットワーク会議	10月14日
●全国共生ケア PJ 会議	10月18日
●北海道所長・現場責任者会議	10月25日
●北海道社会連帯総会	11月3日
●全国みんなののうち交流集会	11月5日
●認知症サポート講座	11月9日
●協同労働推進ネットワーク会議	11月11日
●協同労働実践交流集会	11月12日
●協同労働推進ネットワーク会議	12月9日
●北海道所長・現場責任者会議	12月21日
●協同労働推進ネットワーク会議	1月13日
●北海道 123 よい仕事集会	1月29日
●全国事業所長会議③	1月19日～20日
●札幌市ヤングケアラー基礎研修	2月10日
●協同労働推進ネットワーク会議	2月10日
●接客マナー講習会	2月16日
●新入団研修会②	2月18日
●北海道所長・現場責任者会議	2月21日

- 札幌市ヤングケアラー実践編研修 2月22日・28日
- よい仕事全国交流集会 3月4日～5日
- 手稲老福第2回運営協議会 3月17日

3) 防災計画

- 火災避難訓練（6/28に実施）参加者50名
通報訓練 避難誘導訓練
- 防災避難訓練（6/14に実施）参加者36名
- 防災避難訓練（12/22に実施）
地震に向けての防災 役割分担について届け出

- その他 消防署や防火協会などが主催する訓練や、自主防火訓練、各種WEB研修

4) 定期清掃計画

日常清掃に加えての定期清掃計画については、日程の変更はありましたが、ほぼ計画通り実施いたしました。

特に今年度は、感染症蔓延防止のための消毒・清掃を日常的に行うことを強化しました。

備品・器具類の洗浄から除菌、壁面やカーペットへの除菌清掃など感染症対策としてさらに徹底的に複数回にわたり行いました。

5) ウェブアクセシビリティ対応

2019年度中にウェブアクセシビリティ方針をもとにホームページを9月に全面更改し、誰もが見やすいホームページにいたしました。文字の大きさ、背景の色、フォントの色など視覚障がい者の方でも自分の見やすいように自在に変更できるようになりました。

2022年度も3月に試験を行い今年度もJISX8341-3:2016の適合レベルAAに準拠

5) 利用率と満足度目標

年間開館日数：344	(%)
大広間	34.20%
多目的室	58.72%
教養講座室	43.90%
職能訓練室1	55.67%
職能訓練室2	20.87%
和室	13.08%

(1) 利用率：62.64%

【令和4年度の利用率】

機能訓練室	100.00
集会室	100.00
機能回復訓練室	100.00
娯楽室	100.00
	62.64%

(2) 満足度：

《令和4年度アンケート結果より》

- ① 総合的な満足度（センター全体を通して）
目標：75%以上
満足・やや満足計で **82.5%**

- ② 職員の接遇に関する満足度（センターの運営・スタッフの対応に関して）
目標：80%以上
満足・やや満足計で **83.8%**

- ③ 生活相談に関する満足度
目標：80%以上
満足・やや満足計で **92.8%**

- ④ 講演・運動等事業に関する満足度
目標：80%以上
満足・やや満足計で **87.4%**

- ⑤ 教養講座に関する満足度
目標：80%以上
満足・やや満足計で **83.1%**

- ⑥ レクリエーション行事に関する満足度（行事を通して）
目標：80%以上
満足・やや満足計で **88.1%**

様式1 令和4年度手稲老人福祉センター収支決算書(総括表)

単位:千円

1 収入

項目	決算額	摘要
指定管理費	41,836	光熱費高騰に伴う増額分含む
利用料金収入	521	風呂利用料
コピー・ピンク電話事業収入(指定管理業務)等	218	課税売上を含む
自動販売機	121	
札幌市地域支援事業収入(受託事業)	0	
収入計(A)	42,696	

2 支出

大項目	中項目	小項目	決算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	18,475	
		物件費	22,447	
		小計	40,922	
	事業費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
指定管理業務計			40,922	
自主事業	管理費	人件費	0	
		物件費	60	
		小計	60	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計		
自主事業計			60	
受託事業	管理費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
受託事業計			0	
支出計(B)			40,982	

3 収支

項目	金額	備考
当期利益(A-B)	1,714	
自主事業による利益還元(C)	114	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	524	実効税率30.62%で計算
当期純利益(A-B-C-D)	1,076	

注)

- 1 施設において自主事業として実施する、札幌市その他の機関や団体からの受託事業の実施を予定している場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和4年度手稲老人福祉センター収支決算書(収入)

1.利用料金収入

単位:千円

区分	単位	利用料金 (単価)	利用回数	決算額	備考
浴室	午前				
	午後				
	夜間				
	全日	0.2	2607	521	
	計			521	
	午前				
	午後				
	夜間				
	全日				
	計				
	午前				
	午後				
	夜間				
	全日				
	計				
	午前				
	午後				
	夜間				
	全日				
	計				
総計				521	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 2 税込で記載してください。

2. 指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

単位: 千円

項目	事業名	決算額	摘要
指定管理 業務	コピー代	41	
	ピンク電話	0	
	行事などによる雑収入	177	
	指定管理業務事業収入計	218	
自主事業	自動販売機手数料	121	
	自主事業収入計	121	
受託事業	札幌市介護予防自立支援事業	0	
	委託事業収入計	0	
事業収入計		339	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 税込で記載してください。
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名(予定)を記載してください。

様式3 令和4年度手稲老人福祉センター収支決算書(支出)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	16,500					
	臨時雇賃金	0					
	福利厚生費	99					
	法定福利費	1,876					
	人件費計	18,475					
物件費	旅費・交通費	222					
	光熱水費	6,932		43			
	通信運搬費	439					
	租税公課	1,302					
	広告宣伝費	10					
	保険料	16					
	賃借料・使用料	10					
	リース料	489					
	修繕費	99					
	消耗品費	552					
	備品費	36					
	印刷製本費	184					
	諸謝金	2,363					
	委託費	3,114					
	支払手数料	27					
	減価償却費	0					
	教材・材料費	248					
	法人経費	6,404					
	行政財産の目的外使用料				17		
	物件費計	22,447	0	60	0	0	0
支出計	40,922	0	60	0	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5 令和4年度収支決算書(支出)の内訳(物件費)

単位:千円

1 指定管理業務

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費	222		会議費・教育研修費・旅費交通費・総会費
光熱水費	6,932		除雪機燃料費含む
通信運搬費	439		
租税公課	1,302		全体の仮払い消費税含む
広告宣伝費	10		
保険料	16		
貸借料	10		会場費+レンタル料
リース料	489		
修繕費	99		保守管理費含む
事務消耗品費	552		
備品費	36		
印刷製本費	184		
諸謝金	2,363		
委託費	3,114		ゴミ処理料含む
支払手数料	27		諸手数料含む
減価償却費	0		
教材・材料費	248		材料費・教材費・行事費・新聞図書費・諸会費
法人経費	6,404		15%
計	22,447	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。

単位:千円

2 自主事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
光熱水費	43		
通信運搬費			
租税公課			
広告宣伝費			
保険料			
賃借料			
リース料			
修繕費			
消耗品費			
備品費			
印刷製本費			
諸謝金			
委託費			
支払手数料			
行政財産の目的外 使用料	17		
計	60	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。

3 受託事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
光熱水費			
通信運搬費			
租税公課			
広告宣伝費			
保険料			
賃借料			
リース料			
修繕費			
消耗品費			
備品費			
印刷製本費			
諸謝金			
委託費			
支払手数料			
教材・材料費			
計	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。